

小野市内で加古川を活かしたかわまちづくりを推進

～第2回大部・河合地区かわまちづくり協議会を開催～

—姫路河川国道事務所—

姫路河川国道事務所と小野市は、西日本最大級の桜つつみ回廊がある大部・河合地区において、“かわ(加古川)”と“まち”が一体となった良好な水辺空間の整備を行う「かわまちづくり」の検討を進めており、この度、第2回大部・河合地区かわまちづくり協議会を開催しました。

第2回協議会では、これまでの検討経緯を振り返るとともに、大部・河合かわまちづくり計画(案)について、まちづくり計画の方向性や、ソフト施策・ハード施策の内容についての意見交換を行いました。



概要

- 開催日時：令和2年10月29日(木) 10:00～11:30
- 開催場所：小野市役所2階 会議室2-1、2-2
- 参加者：小野市長、近畿地方整備局姫路河川国道事務所長、漁業関係者、大部・河合地区地域づくり協議会関係者、民間業者、小野市関係者 計12名
- 主な議事：これまでの経緯について
大部・河合かわまちづくり計画(案)について

第2回協議会の開催状況



大部・河合かわまちづくり計画(案)

<かわまちづくり実施予定位置図>



おの桜つつみ回廊



河岸の利活用イメージ(案)



河岸の利活用イメージ(案)

協議会委員の主な意見

- ❑ 川への関心を高め、昔の川と身近だった環境を復活させたい。川の中を歩き、生物と接することで川の原点に戻った接し方を広めたい。川の多様な価値観を世代を超えて共有したい。
- ❑ かわまちづくりは人づくりであり、地域の盛り上がりをもどのように作っていくのが重要である。ハード整備は時間がかかるので、ソフトを先行して盛り上げていくことも重要である。
- ❑ 川の中で釣りをして、河合地区で作った陶器で、魚を焼いて食べるというような一連の体験の流れを作ること重要である。
- ❑ 加古川に親しみながらも、危険について学習し、歴史や産業・流通のことも学ぶことができるかわまちづくりを作り上げていきたい。

今後の予定

- ・年内に開催予定の第3回協議会で、計画(案)を策定し、令和2年度中の「かわまちづくり計画」の登録を目指す。

【問い合わせ先】

国土交通省 近畿地方整備局 姫路河川国道事務所 調査課
〒670-0947 姫路市北条1-250 TEL 079-282-8211

